

令和3年度標準学力調査 指導方法等の改善計画 【国語】

学 年	課題と なる観点	児童の誤答の傾向と分析（○） 教育指導上の要因分析（●）	課題改善のための《指導場面 （指導時期）》と具体的な取組
2	思考・判 断・表現	<p>○聞かれていることにあっていない文を書いている傾向が見られた。これは、問われていることがつかめていなかったり、メモを特定の言葉に注目して読んでいたり、語と語の続き方に注意してメモの内容を捉えることができていなかったりしたためと考えられる。</p> <p>●メモを読み取る上で、内容のまとまりを捉え、聞かれていることとを整理して必要な情報を選ぶこと、書くことのつながりを意識して文章を書くことの指導が不十分であった。</p>	<p>《（7月・9月・11月）》</p> <p>「共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること」を位置付けた単元により指導し、その中で、分かりやすい説明をするための順番を整理させたり、正しく説明させるための情報を選択させたりする。</p> <p>《通年》</p> <p>問われていることをつかむことができるように、授業中にこれから考えることを板書に書いたり、ノートに書いたりさせる。</p>
3	知識・技 能	<p>○掃除についての内容であり、書かれている事柄の順序ではなく、自分自身の日常生活の経験を基に回答を書いている傾向が見られた。また、事柄の順序を表す言葉を読み取れていない傾向があった。このことから、問題文を注意して読む力が少ないことが分かる。</p> <p>●問題に答える前に問題文を読むこと、必要な部分を読み取ることの指導が不十分であったと考えられる。</p>	<p>《（通年）》</p> <p>今何が問われているのか明確にするために、ペアで確認をしたり、問われていることをノートに書かせたりする。問われていることと答えを関係付ながら板書に記すことで、問いと答えを分かりやすくする。また、文章を書く際や説明をする際に、順序を表す言葉を使わせることで、使いながら覚えることができるようにする。答えを探す際には、聞かれていることと同じことが問題文に書かれていないかを探し、その近くを注意して読むように指導していく。</p>
4	知識・ 技能	<p>○ローマ字表記におけるバ行 (b) とダ (d) 行の読み方が誤っている傾向が見られた。また、拗音の表記の仕方が理解できていない傾向が見られた。これは、50音以外の正確な表記の仕方の理解が十分定着していないためであると思われる。</p> <p>●濁音、半濁音、促音、拗音など、50音以外の文字表記の指導が不十分であった。また、日常的にローマ字を使用する機会の設定が不十分であったためであると思われる。</p>	<p>《学習予定の確認（通年）》</p> <p>1日の時間割をローマ字表記で表したカードを小黒板に貼り、ローマ字を読んで科目を理解するようしたり、明日の時間割を日本語で表記したものをローマ字でノートに書き写すなどの取組を継続する。</p> <p>《タイピング練習（通年）》</p> <p>帯タイムでのタイピング練習を継続し、ローマ字入力に慣れさせるとともに、目標に向かって意欲的に取り組めるように指導する。</p>
5	思考・判 断・表現	<p>○発表の内容についての聞き取りに集中し、説明の仕方の工夫について考えながら聞くことができている児童が多かった。分かりやすい説明の仕方についての理解ができていないと思われる。</p> <p>●理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話を構成する指導が不十分であった。また、聞く活動の際に内容を意識するあまり、説明の仕方についてのよさを見つける指導が不十分であった。</p>	<p>《言語活動（通年）》</p> <p>目的をもたせ、相手に分かりやすく伝える方法を意識したスピーチ指導をしていく。また、聞き方の指導を合わせて行い、必要なことを記録させ、事柄の順序など、話の組立て方を意識しながら、話の要点をまとめる活動を行っていく。</p>
6	思考・判 断・表現	<p>○問題全体として、説明文の内容を読み取ることそのものに課題がある。その中でも特に、一つの段落の読み取りができていないため、それぞれの段落の役割に気づけていない。</p> <p>●段落の読み取りとして、段落の要点をまとめることに慣れていないということがいえる。また、段落相互の関係を考えたり各段落の役割について考えることができていない。</p>	<p>《説明文教材の授業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落に何が書いてあるのかを読み取り、簡単にまとめる活動を入れる。（要点） ・段落の役割を確認しながら読む。（段落相互の関係） <p>《スキルタイム・宿題（通年）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな説明文に触れ、内容や段落の関係を読み取る力をつける。 ・長文を要約する課題を取り入れていく。 ・段落を意識した日記を書く宿題を出す。